
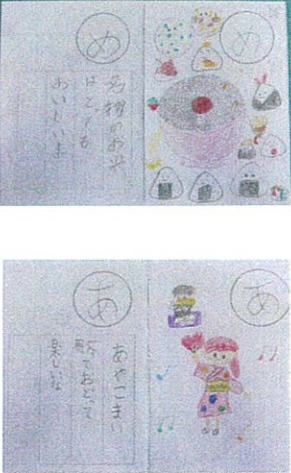


① 事業実施報告書詳細

学校名 柏崎市立北鯖石小学校

| 時間数 | 場所 | 概要 | 活動記録(写真) | 対象者の反応 |
|-----|-------------|--|--|---|
| 10 | 教室 北鯖石地区 | <p>「北鯖石」のステキってどんなところ？</p> <p>北鯖石のステキについて考えた。コミセン見学をして、主事にインタビューし、地域の探検の計画を立てた。地域探検をし、地域の歴史も調べた。</p> <p>相同的な学習だけでなく、社会や理科との連携を図った。社会で学習した人々の働き方や理科で観察した動植物の生態等が、地域の景観に大きく関わっていることを指導する。</p> |  <p>北鯖石地区の探検</p> | <p>探検コースは、地域ごとに子どもたちが話し合い、みんなに知らせたい場所や見せたいものを紹介できるように、自分たちで考えた。探検の途中で、その地区の子どもたちがみんなに紹介したい場所について説明する様子も見られた。</p> <p>同じ北鯖石地域でも知らない場所や知らないことがまだまだ多くあることが分かった。</p> |
| 40 | 教室 柏崎市内 | <p>「柏崎」のステキってどんなところ？～柏崎の四季、観光</p> <p>自分たちの知っている柏崎の場所や行事のことをもっと詳しく知ろうと話合い、探検の場所を決めた。全体で見学を行うことにした場所の他、夏季休業中にも、お家の人と探検することとした。</p> <p>柿団地 夢の森公園 祭り等の地域行事 お寺・神社等</p> |  <p>新道柿栽培組合 (柿団地)</p> <p>夢の森公園</p> | <p>コロナ禍における校外学習の自粛は改善しつつあるが、学年閉鎖等が重なり、見学の回数が制限された。</p> <p>そのため、夏休みに個人でテーマを決めて、家庭の協力を得ての調査をした。自分で調べたいテーマを決めて、紹介するという取組であったが、それぞれ興味をもった視点でシートをまとめるこ</p> |

| | | | | |
|----|---------------------|--|--|---|
| | | <p>柏崎について情報を集め、発見したことを新聞やポスターにまとめて柏崎の魅力を実感していった。</p> |  <p>アクアパーク</p> | <p>とができた。 市内の各地域で地域の発展のために活躍している人に気づいてきた。</p> |
| 20 | <p>教室 北鯖石地区</p> | <p>柏崎を紹介しよう 柏崎のことを知らない人に、柏崎のステキについて紹介することになった。学級全体で紹介する内容や方法を考え、カルタにして発表することになった。グループごとにカルタを使った紹介の準備をすすめ、柏崎のいいところ発表会を開いた。</p> |  | <p>5・7調の音と絵カードにより楽しみながら、柏崎のよさを知ることができた。国語で学習したカルタ作りの経験が活かされた。</p> |

② 学習指導案

| | |
|----------------------|--|
| 単元名 (時間) | ステキ発見！私たちの北鯖石・柏崎 全70時間 |
| 学習のねらい | 柏崎の自慢やお宝を調べ、それを保護者や柏崎のことを知らない人に伝えることを通して、柏崎の「よさ」に気づき、ふるさとを大切にできる心を育てる |
| 学習内容 | 1 北鯖石のステキについて考える。 2 自分たちの知っている柏崎の場所や行事のことをもっと詳しく知る。 3 自分たちの知らない（よく分からない）ステキについて知る。 4 柏崎のステキを紹介する。 |
| 参考資料 準備品 実施場所等 | 観光パンフレット・ポスター、市立博物館 デジカメ、タブレット、メモカード、たんけんバック ○コミセン ○地域探検（○ファームくじらなみ）（○えんま市） ○海水浴場（○花火大会）○夢と森公園 ○赤坂山公園（○ブルボン） （○さけのふるさと公園）○柏崎市立博物館 ○綾子舞会館 ○他：夏季休業中に保護者との訪問（ ）はコロナ禍で未実施 |

学習の流れ

| 時間 | 学習活動 | 教師の指導 | 評価 |
|----|-----------------------------------|---|------------------|
| 10 | 1 北鯖石のステキについて考える。 | | 活動の意欲 (観察) |
| 15 | 2 自分たちの知っている柏崎の場所や行事のことをもっと詳しく知る。 | ・柏崎について情報を集め、発見したことを新聞にまとめて柏崎の魅力を実感させる。 | 課題設定能力 (観察メモ) |
| 25 | 3 自分たちの知らない（よく分からない）ステキについて知る。 | ・柏崎について情報を集め、発見したことを新聞やポスターにまとめながら、柏崎の魅力を実感させる。 | 課題設定能力 (観察メモ) |
| 20 | 4 柏崎のステキを紹介する。 | ・カルタ等の方法を示し、楽しく親しめる方法を指導する。 | 表現力（作品） |

<留意点>

交通安全に配慮する。

行動の範囲を広げるため家庭に協力を求める。

③ 実施内容について

(1) 実施にあたり工夫した点

体験を豊かにし、そこから生まれる課題意識を大切に展開した。校区内の身近な人にインタビューするという活動を行い、対象（柏崎の自慢やお宝）に十分かかわる時間を確保しようとした。そのことで、児童の対象への興味関心を高め、活動への意欲的な取組を引き出すことができた。また、体験を思考活動へとつなげるために、その後の言語活動を大切にしました。その際一人一人の気づきを言語化するだけでなく、みんなでその気づきを話し合うような場をタイミングよく設定した。そのことで、子どもは、対象への気づきを広げたり深めたりして、追究の意欲を高めながら活動に取り組んだ。そして、最終的に「多くの人に知らせたい」という思いが高まったところで地域発信をしかけ、一人一人の思いのつまった「カルタ」を作成することができた。

校区内の身近な人へのインタビューから、市内の各地を訪問する際、新型コロナウイルスの影響を大きく受けた。そのため、子どもたちの各家庭に協力を求め、子どもたちが保護者等と話し合い、夏季休業中に興味のある場所を訪問するようにした。

(2) 実施にあたり苦労した点

新型コロナウイルスによる学級閉鎖や感染者が複数いる状況が続き、校外学習における体験活動は、厳しく制限された。計画どおりにいかないことが多々あり苦労した。

(3) 児童の反応

自分たちの学んだことを絵や言葉で「カルタ」にまとめるだけでなく、それを発信活動に活用しようとして設定することで、子どもたちの意欲が高まると同時に景観への見方や気づきが広がった。最終的なゴール（目的）を明確にすることで、調査活動やまとめの活動において豊かな感受性とコミュニケーションを最大限に生かして、よりより言葉や絵に仕上げようと取り組むことができた。

国語の俳句づくりの五・七・五のリズムに慣れる経験が大きく生かされ、子どもたちは意欲的にカルタを作った。

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

活動を充実していくには、子どもの気づきを指導者がしっかりと把握しておく必要がある。学級全体での話し合いの後、一人一人の気づき（シート等）を丁寧に見取り、今後の指導に生かそうとする姿勢が見られた。

コロナ禍でも、子どもたちに体験活動をさせようと、夏季休業中に家庭に協力を依頼した。家庭と目的や活動を共有できたことは、学校と家庭双方の収穫である。

(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕

3年生は地域を対象に総合的な学習の時間を進めている。対象が身近にあることで、十分関わることもできた。ただし、市全体を範囲とすると新型コロナウイルスのため見学受け入れの難しい内容もあり、今後の活動正常化に伴い、総合的な学習の時間のテーマや内容を再検討し、より地域との関わりが深くなるように設定することが今後の課題となる。

学力向上の観点から、他教科（特に国語、社会、理科）との関連を明確にして指導することが重要である。